

65 最上義光歴史館を中核とした山形市中心市街地観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者): 最上義光歴史館(山形市)
文化観光推進事業者: おもてなし山形株式会社、The Hidden Japan合同会社、山形交通株式会社、山形市ホテル協会、山形市ホテル宿泊連絡協議会、山形銀行株式会社、山形市観光協会

計画期間

2026年度～2030年度(5年間)

目標

- ・最上義光歴史館入館者数:
2025年度 約35千人→2030年度 約49千人(+40%)
- ・最上義光歴史館のインバウンド来館者数
2025年度 約1,100人→2030年度 2,000人(+82%)
- ・最上義光歴史館の満足度
2025年度 77%→2030年度 87%(+10%)
- ・来館者のうち市内に宿泊した割合
2025年度 未調査→2030年度 29%
- ・外国人観光客の延べ宿泊者数
2025年度 89千人→2030年度 209千人(+234%)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・常設展示改修事業、収蔵資料デジタルデータベース化事業

<2.文化についての理解促進>

- ・館内展示と連動した「スマート鑑賞」の提供

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・デジタルサイネージによる配信事業、物販などキャッシュレス導入

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・最上義光歴史館を拠点とした中心市街地回遊型観光プログラム事業、夜間コンテンツの創出と宿泊化

<5.国内外への宣伝>

- ・ウェブサイト改修事業、パンフレットの多言語化と内容見直し

<6.施設又は設備の整備>

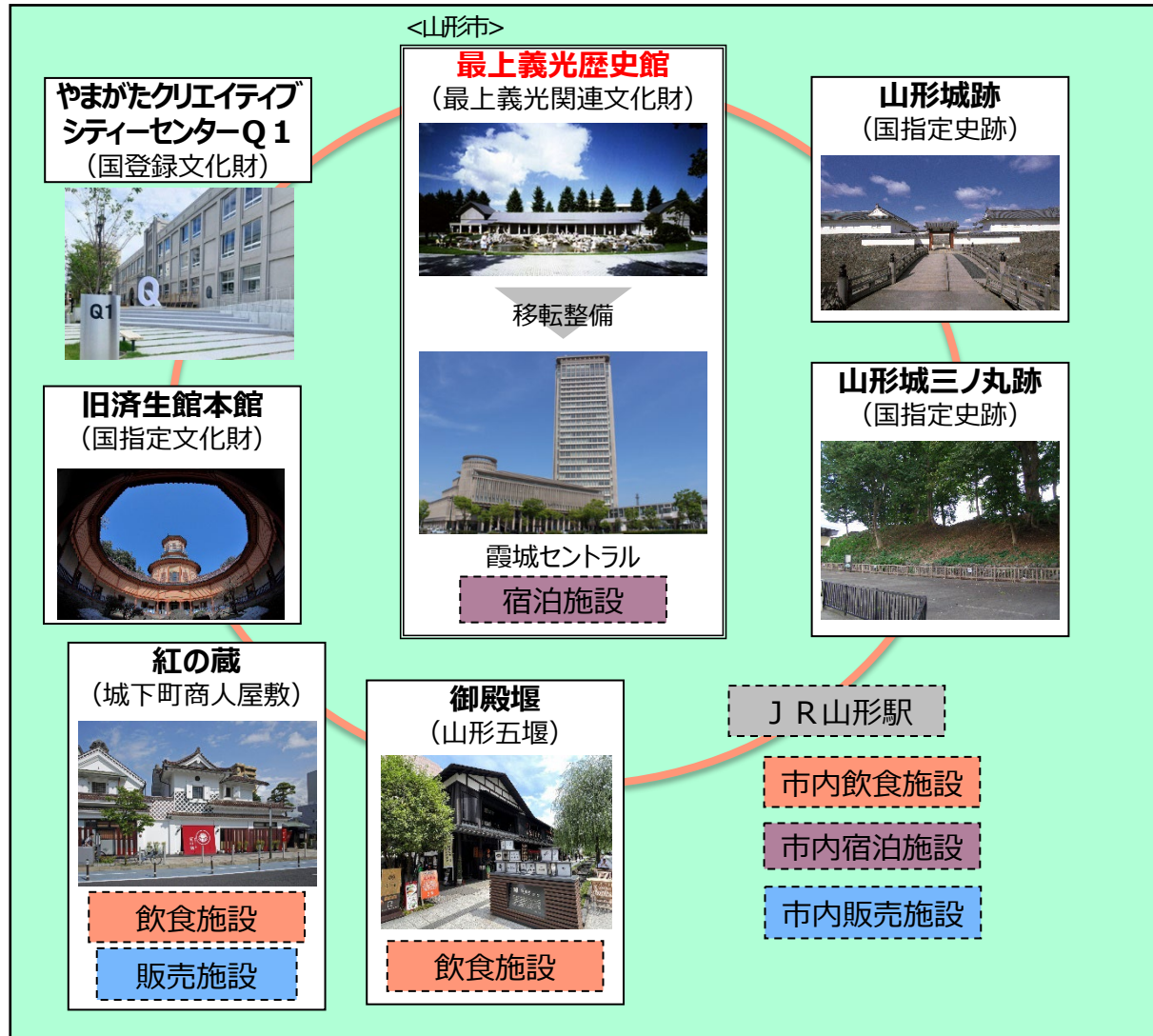
- ・最上義光歴史館移転整備事業

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

178.9百万円(うち文化観光推進事業補助金102.82百万円)

計画区域

最上義光歴史館を中核とした山形市中心市街地



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設